

くい文化センターだより

高原のそよ風

三原市久井町和草
1883番地6
TEL：0847-32-7138
FAX：0847-32-8406

今月で令和7年度の主催講座がすべて終了する予定です。

「柿渋染めを楽しもう」は10月に、「物づくり8選」は1月に、学習内容の時期的なこともあり、終了しておりました。「いろんなパッチワークを楽しもう」と「椅子に座って姿勢改善・筋力アップ健康体操」は、今月が最終回となります。

受講者の皆さんは、様々な学習を通して、交流を図りながら、より一層学びを深めることができたと思います。そうした中、「物づくり8選」の講座は、いろいろな分野の物づくりにチャレンジすることができました。受講者の皆さんそれぞれが学ばれたことが生かされ、より豊かな生活につながっていくことと思います。

3月号では、令和8年度の主催講座のご案内を予定しておりますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。



主催講座【柿渋染めを楽しもう】 の作品紹介



好みの色和紙や古文書などを張り、その上に柿渋液を2回塗る工程を経て、一貫張りかごを作りました。

主催講座【物づくり8選】の 作品紹介



クラフト手芸で、数種類の長さのクラフトバンドを交互に重ねる・折る工程を経て、ボックスを作りました。

主催講座【椅子に座って姿勢改善・筋力アップ健康体操】の様子



身体の筋肉をほぐしたり、手や脚、首の筋を伸ばしたりしながら、途中休憩をはさみ、1時間半の間、じっくり体操をしました。身体がほぐれてとても温まったそうです。

主催講座【いろんなパッチワークを楽しもう】の作品紹介



全体のデザインを考えながらいろいろな柄のキルトを一つ一つ丁寧に作り、最後に作ったキルトを縫い合わせ、オリジナルの作品を作りました。

久井の学び 『御福開祭・はだか祭 ～久井稲生神社～』 行事編

毎年2月の第3土曜日に行われる広島県内唯一の「はだか祭」は、大正8年（1919年）に始まり、100年を超える歴史ある祭です。

「御福開祭」は、はだか祭の前に行われる神事で本殿において行われ、参加者の名前を書いた御供が清められ、福が開かれ「御福開」となります。

無病息災を願い多くの参加者が、陰（赤）と陽（白）2本を奪い合う姿は迫力満点です。御福木を奪い合う勇壮な姿や水を掛けると参加者の熱気で湯気が上がり、その迫力ある光景は祭りの見どころのひとつです。



御福木を手にした人は、その1年間、幸運に恵まれると信じられています。「はだか祭」に参加するだけでも無病息災が叶えられると言われています。今年の「はだか祭」は、2月21日（土）に開催される予定です。

（久井稲生神社のホームページ参照）



久井図書館から



＊ドールハウスと手芸作品の展示「奥崎和子と仲間たち」

2月1日（日）～2月28日（土）（予定）

町内在住の工芸作家・奥崎和子さんと仲間たちのドールハウスと手芸作品を展示しています。

＊おはなし会 2月28日（土）13：30～14：00

＊休館日 毎週火曜日、祝日（11日、23日）

＊おすすめ本の紹介

『まるみかん大一番』 まはら 三桃／著 小学館

丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」が閉館するという1枚のはり紙に、びっくり！みんなの居場所「まるみかん」が無くならないためにできることはなんだろう？壁新聞？プレゼン？住民投票？ぼくたち「まるみかんを守る会」の大一番がはじまる。



QRコードから、三原市内各施設の「現在や過去の生涯学習だより」がご覧いただけます。



《編集日記 金木犀》

2月は暦の上では春になりますが、夜空にはまだまだ冬の星座が輝いています。

2月中旬の夜8時頃の南の空には、オリオン座の「ベテルギウス」、おおいて座の「シリウス」、こいて座の「プロキオン」の3つの1等星をつないだ三角形、「冬の大三角」を見ることができます。

時には夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。

【問合わせ】生涯学習相談員 坂田まで

令和7年度



久井コミセンだより

2月号

〒722-1303 三原市久井町下津1397番地
電話・FAX 0847-32-7139

No. 107号

美しく、楽しくできました

多肉植物の寄せ植え

門田京子さんを講師に招き、様々な種類の多肉植物を、思い思いに寄せ植えにして楽しむ講座を行いました。

寄せ植えに入る前に、鉢にデコパージュをします。受講生の皆さんは好みの模様でデコパージュした鉢へ、色どりや配置を考えながら、センスよく多肉植物を植えていきました。

愛らしく、美しく変身した寄せ植えを眺める受講生の皆さんの笑顔は、とても輝いていました。



ミニ門松で新年を迎えよう

廣近哲二さんを講師に招き、飾ると幸福になると言われている「ミニ門松」の作り方を学ぶ講座を行いました。

台となる竹に藁を巻き付ける作業はなかなか難しかったのですが、講師の丁寧な助言により、全員みごとな「ミニ門松」を完成させることができました。

受講生の皆さんは、手作りの立派なミニ門松に大満足でした。



凍結防止のため、止水栓を閉めています

厳しい寒さが続くこの時季、久井コミセンでは、館内外の水道管凍結防止のため、止水栓を閉めることにしています。このため、館内外の一部の水道が使用できません。

久井コミセンを利用される皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

使用できない箇所

- ・一階及び二階廊下手洗い場
- ・二階トイレ
- ・出入口の足洗い場
(東側、西側)

使用できる箇所

- ・一階トイレ
- ・調理室



古紙回収ボックスを ご利用ください

紙ごみの再資源化を促進するため、昨年11月から旧久井小学校体育館南側に古紙回収ボックスが設置されています。

24時間いつでも開場していますので、久井コミセンを利用される時だけでなく、いつでもご利用ください。

開場時間：月曜日から日曜日 24時間

対象品目：新聞・雑誌・段ボール・雑紙



「久井短歌教室」の作品



朝一の
冷たい空気吸い込めば
体シャキッと蘇りきつ

Y
・
H

山あいの
夕暮れ時はほろ淋し
主なき家に灯り点らず

歌集「くろ土」第62号から

久井歴史民俗資料館から

馬にまつわる地域の話

今年は午年ですね！馬は人間にとって、古くから貴重な存在でした。久井地域は江戸時代、日本三大牛馬市として栄え、馬は農耕用の運搬に使役され重宝されました。

久井町には「江木」という地区がありますが、これは昔の駅(馬の乗り継ぎ場)であったことが起源とされています。現在の駅といえば、電車や新幹線の乗り継ぎ場というイメージですが、駅には、馬という漢字が使われているのはこんな理由があります。

昔から馬は人々の暮らしを支え、現在の豊かな生活も、人間の力だけでは及ばなかったことが、牛馬市の歴史からもうかがえます。



大日本名所図録には久井の牛馬市の様子が記載されています(明治34年)



馬を引く人(昭和37年)

久井コミセンへのお問い合わせ・ご相談は、
こちらにお願いします。

☎ 0847-32-7139 崎田・代畑

このQRコードから三原市内
各施設の生涯学習だよりがご覧
いただけます。



久井南コミセンだより



〒722-1416 三原市久井町山中野 1337 番地
電話・FAX 0847-32-6316

令和8年
2月1日発行
第225号



体験講座の報告①



おいしさ格別「手作りこんにゃく」

12月12日(金)

12名の受講生が久井町産のこんにゃく芋を使い、こんにゃく作りを体験しました。

芋を洗って切る、蒸す、砕く、混ぜる、凝固剤添加、成形、ゆでるの全工程を経て手作りこんにゃくが出来上がりました。



完成！



体験講座の報告②

めでたき花の「正月飾り」

12月23日(火)

久井南コミセン運営委員会主催のお正月用生花講座を開催しました。

手作りの竹製の花器に、16名の受講生が花材を次々とアレンジメントしていき豪華な作品が完成しました。最後に「♪お正月」の歌を全員で斉唱し閉会しました。「おかげで華やかな新年が迎えられます。」と喜びの声が多く聞かれました。



《豪華な完成作品》



久井南コミセン 消防訓練実施



12月5日(金)

火災事故の報道が多く聞かれる中、命を守るための行動を!と、さらに気を引き締めて訓練に取り組みました。積極的に消火訓練にご協力いただいたやまなみ推進協議会の皆さんありがとうございました。



避難訓練



消火訓練



消防機器操作確認



ふれあい配食弁当作り

ありがとう!



12月21日(日)

中野地区社協による、75歳以上の一人暮らしの老人を対象にした配食弁当作りが行われました。地区役員とボランティアの心のこもった手作り弁当に喜びの声が多く聞かれました。役員とボランティアの皆さんお疲れ様でした。



心を込めて作りました。
召し上がってください。

ポテトサラダがとても
美味しかったと好評で
した。



令和7年度主催講座作品展開催のお知らせ

期 間 : 3月16日(月)から4月10日(金)まで
場 所 : 久井南コミセン 1階玄関ホール・廊下・研修室1

※自主講座の皆さんの作品も展示します。

お待ち
しています



★講座の申込み・お問い合わせは
久井南コミセン生涯学習相談員

山本・鍛冶まで



たより HP

